広報 なきじん

第8号

編集発行　今帰仁村役場 広報編集委員会 TEL 098056－2101

印刷　沖縄高速印刷 TEL(0988)32－5513

今帰仁村の人口

昭和49年12月31日現在

男	5,442
女	5,570
計	11,012
世帯数	2,690

伝統芸能まつり催す

★第一回今帰仁村民俗伝統芸能まつり（村、村教育委員会、村観光協会、村商工会主催）が去る一月二日午后二時から、今帰仁中学体育館で催されました。★約三五〇人の参観客が会場をうめ、一つ一つ上演されると観客から拍手喝采をうけるなど正月に花を添えました。★上演したのは各部落で長年愛好されている伝統芸能で、上演した一コマ一コマをビデオカメラ、八ミリカメラに納め、民俗資料として保存し、文化財として価値のある民俗芸能を指定するつもりであります。★

伝統芸能まつりは村内に昔から残っている、民俗芸能を保存し、復活しようと初めたのが目的で、早目に、復活しないことには、後継者が失われていくからです。

一般公開されることにより、村民に芸能の良さを再認識してもらい、踊り手は教養として芸をみがき、歌詞の心、心身の安らぎを得るため、観客は娯楽、慰安として、村民全員が楽しめる場をつくるつもりであります。

芸能は、祖先代々から伝る無形文化財で、私たちは幼少の時代から、タイコ、笛などの音を聞くと（すみなれた郷土のオガリを思い出す）など、芸能は人間の"こころ"の刺激剤としての役割もはたしてきました。

祖先のつくった、由緒ある（古い芸能）を私たち、お互いが大切に引き継ぎ、子孫に伝える義務があり、歴史的背景を知ることにより、今後のムラの発展につながるかと思います。

海洋博に出展する

今年七月から海洋博が開催され、"祭りの広場"で沖縄各地の芸能を公開することになっています。

本村で、伝統芸能まつり"の計画がある事を知り、まつりに招れた新城憲祐氏（海洋博伝統民族芸能保護助委員長）は「練習不足もあったが、熱心さには感心している。

今帰仁村は北山城の城下町として栄えたムラであり、他の芸能とも合せて、海洋博に出展してもいないい」と海洋博への協力を呼びかけました。

問題点

今日まで、十分な芸能の保存対策ができなく、踊り手「指導できる人」の老齢化「他市町村への住み込み」などで指導が思うようにできないのが現状であります。

そして、踊り手は歌を知っていても、歴史的背景、由来、意味を十分に解せず、踊りのニューアンスや表現ができない、などの欠点があります。

今回を機会に、早目に後継者の育成に努めると共に、踊り手に多数入いてきて、地元「今帰仁」の文化と交流し、村民の生活にも中国文化が根強く浸透していた模様であります。

伝統芸能まつりは村内の各部落で長年愛好されている民俗芸能で、上演した一コマ一コマをビデオカメラ、八ミリカメラに納め、民俗資料として保存し、文化財として価値のある民俗芸能を指定するつもりであります。★

持さることでしょう。

今回上演しなかった芸能は、サンクチペーチン（今泊）アヤグ（諸志）雪バライ（崎山）あやつり獅子（謝名）サザエー（大底）豊年口説（勢理客）その他数多くの伝統芸能があります。中でも、仲宗根、今泊の獅子は父さん獅子、謝名は子供獅子と言われ、各部落とも、互いに関連性のあるものが多く、次回の伝統芸能まつりでは、全部落の参加が望まれています。

由来

四〇〇〇年以前、今帰仁村は今帰仁間切と呼ばれ、当時今帰仁の城下町として栄えた今帰仁ムラと親泊ムラ（今泊）は芸能の栄えな地域として知られていました。

当時、中山、南山の側にもれず、北山城は中国の福建省と進貢貿易（チンコン貿易）が活発に行なわれていたため、中国の文化、芸術、民芸品などが村内に多数入いてきて、地元「今帰仁」の文化と交流し、村民の生活にも中国文化が根強く浸透していた模様であります。

当時、今帰仁に首里城主第二尚氏尚円王の次男として生まれた朝百が今帰仁鑑守として巡遣されました。

朝百は首里で芸の達人者として知られており、芸を今帰仁にも伝えるため、ムラの青年達を集め「学問」「教養」「娯楽」「慰安」「無踊」など、あらゆる教育に努めた。

沖縄独自の芸能が多いが中には中国的な色彩の入いている「路地楽」「棒術獅子舞」「空手踊」など中国の影響を受け、今帰仁間切で改良に改良を重ねて独自の踊りとして現在に至ったものと言い伝えられています。

今回芸能として残っている数々のものは、尚円王時代に、一般大衆が結婚式、豊年祭などの祭り事の時に踊っていたものが大部分だとされている。

上演された主なのは下表のとおり。

路地楽（湧川）

回	部落名	上演芸名	上演者氏名
1	仲宗根	かぎやで風	金城メリ子　我那覇トシ子
2	仲尾次	豊年口説	山城光一　喜屋武春樹
3	与那嶺	国頭捌吏	
4	今泊	シバンテナガア鳥	大城菊三　他二曲
5	仲宗根	元貫花	金城メリー　我那覇トシ子
6	謝名	ヌーフル節	米須敏雅
7	仲尾次	亀甲踊	国吉真規　上間昇　玉城治
8	今泊	宮古の根	仲里忠和
9	湧川	七福神	上間英政　津波マサ子
			招介役　渡嘉敷スイケン
			与座常次　嘉陽宗三
10	仲宗根	千瀬節	仲宗根保　大城鉄夫
11	今泊	述懐術	沢岻美枝子　川上正一
			沢岻安富　名嘉山良英
			金城メリー　我那覇トシ子
			指揮者　上間幸雄
			上間光喜　仲村安行
			玉城正房　仲宗根武一
12	湧川	棒術獅子舞	仲尾次吉澄　上間幸夫
13	今泊	空手踊	上間澄夫　上間輝秋
			新城修
14	今泊	路地楽	上間幸雄　仲尾次清次
15	今泊	多田名万才	他二人

クンジャンサバクイ（与那嶺）

火災・救急は　119　番へ

通常電話は　2151

体育館落成

今帰仁中学校

〝ワーイ、ボクラの体育館が、できたゾー〟

去る十一月三十日、全生徒、関係者多数が、体育館をギッシリうめ、今帰仁中学校（大城重徳校長）創立二五周年を記念し、体育館の落成式が行なわれました。

日頃、体育の時間に雨が降ると、教室、廊下などで生徒たちは、体育を受けるなど、不便をかこっていたものです。

近代的な体育館ができ、体育時間は計画通りできるとあって、生徒や先生達は大喜び。

これは去る昭和四八年十一月八日に、起工式が行なわれ平山組の工事請負により、建設が進められ、今回の、はこびとなったものです。

式典は、テープカットで始められ、開式のことば、経過報告、学校長、期成会長、教育長、校長などのあいさつでは「いままで、雨天時の体育教育や学校内の行事等を実施する際、たいへん不便をかこっていたものです。

このような、すばらしい体育館ができ、非常に喜んでいます。

そして、建設に対し、多額の寄付をして下さった方々に対し感謝の意を表します」と述べました。

中でも、生徒会長は「まちにまった、体育館を造ってもらい、私たち生徒は、関係者の方々に、たいへん感謝しています。

今までは、雨天時に体育は十分できず、色々な式典にも事欠いたものです。

私たち三年生は初めて、体育館で卒業式ができるので、どんなにうれしいことか。

野外で演奏された音楽会も音響の良い講堂で行なえるので、すばらしくなることでしょう。

皆さまの意にそむかぬよう、体育、文化活動に頑張るつもりです。

父さん、母さん、そして関係者の皆さんありがとう」とあいさつし、先輩達の苦労をねぎらいながら、生徒達は、今後とも学習活動に専念する意を表しました。

式典修了後、祝賀会では余興のカギヤデ風をかわきりに体育館落成式に花を添えていました。

体育館の概観は次のとおり。

建て面積　一、〇四〇平米
総面積　一一、一一四平米
建設費　八六、九二六、〇〇〇円
国から　三三、〇〇〇、〇〇〇円
村から　五三、九二六、〇〇〇円

落成をよろこびカチャーシーを踊る先生

北山老人大学修了

老いても勉強を！

「私たち老人は時代の進歩発展に遅れることなく、若い人と共に、足並をそろえ、勉強し、先駆者となるよう、がんばりましょう」

と去る十二月十六日村役場ホールで、北山老人大学校第三期生七二名」の修了式が行なわれました。

学生一人々に、修了賞書を手渡した後、仲村会長は「月日の過ぎ去るのは、川の水の流れるように早いもので、ぶじ修了された皆さん、おめでとう。しかしながら、入門生八三名中、七二名しか修了できないことは、老人の悲しい運命とはいえ、残念でなりません。

（年のクーは亀のクー）の言葉の示すように、老人は考えることを常に念頭におき、老人大学に発揮し、今帰仁村の発展に寄与するよう、頑張りましょう」とあいさつしました。

同大学校は四七年一月から開校し、今回の修了となったもので、開催期間中、月一回の全体総会をもつことになっており、勉強会、視察を行なったり、北部老人福祉事務所から講師を招いて、老人のあり方を供に学び、指導助言をうけたりする内容です。

そして、久米島視察の八ミリを上映「一月七日」すると、本村の老人大学は北部地域で（活発的「勤勉」であり、各地での評価は高く、北部連合会からモデルケースとして指定されるようになりました。

そして同日、老人会では人間学問は生涯教育をつらぬくことにより、身体は老いても常に勉強し（考える事）を続け、精神面での老人とならないようにしよう、と決意を新たにしました。

今帰仁消防

無線機を設置

「今帰仁から消防今帰仁の二号車応答せよ」。

去る十一月五日、消防本部今帰仁分遣所（金城勲所長）に、無線機が救急車と消防車に設置されました。写真。

これまでは、救急業務や火災が生じた場合に「分遣所」基地と消防車との連絡がとれず、不便をかこっていたが、無線機が設置されたことにより、たえず現場状況の連絡をとり、臨機応変に対処することができることになりました。

例えば、救急発生の時、輸送中、患者の容態、住所、氏名など、たえず分遣所と救急車は連絡をとり合うことが可能となります。

したがって、患者の容態によっては、中部病院などに連絡し、救急車に目的地を指示することになります。

拡声機を装備しているため、三〇〇m以上の広範囲にわたっても聞きとることができます。

そして昭和四七年には消防応援協定が結ばれているため、大火災時には近隣市町村消防に出動依頼ができるようになっています。

消防では、ここ数ヶ月間家屋の火災はないが、製糖期になると、キビ畑の火災発生が多くなるので十分なる注意を呼びかけています。

初の「県政ひろば」開く

福祉施設の強化を

「あなたの声を県政に」と題し、北部地域を対象した県政広場が去る十一月二二日国頭村役場ホールで開かれました。

これは県側が県政に対し地域住民の意見を聴き入れ県政に反映させ、地域との交流をより深めようと企画したものです。

今回は金武村以北が対象とされ、県側から、屋良知事、宮里、新垣両副知事、各部長が出席し、各市町村側からは、市町村長、助役、課長、議会議長やその他一般住民など約三〇〇人が参加しました。

席上、今帰仁村代表の上間カズ女史は（生活福祉と老人問題）と題し、

「寝たきり老人のための施設の増設をお願いし、場所は、景色のよい、本部半島が適地かと思う。

県立老人学級の設置を完備し、それの専任講師を任命してもらいたい。

県立の心身障害児の収容施設と養護学校を北部管内に設置してもらいたい。」

などと質問したのに対し県側は、

「現在の施設は定員をオーバーしており、入園措置をとることができない実情にあります。

県振興開発計画で施設整備計画を進めている。

場所は思納村と宜野座村に計画されており、本部半島での計画は今のところない。

専任講師制度はないので困難かと思える。

小規模施設を各地に建設することは、支障を生じることがあるので、整肢療護園の、整備強化を図っていきたい。

養護学校は五三年度までは建設したい考えであり、早目に用地の確保に努めてもらいたい」などと答えました。そのほか各市町村から「教育行政について」「青少年の不良化問題」「医療問題」「道路問題と水資源について」「農業問題について」「北部の観光と伝統工芸について」「海洋博後利用について」「振興開発について」などの質疑応答が行なわれ、会場は、熱気にあふれていました。

福祉施設の強化を訴える
上間　カズさん

100年記念祝う

郵便開局

去る十一月十一日～十三日の三日間、今帰仁に郵便局（局長諸喜田峯夫）において、開局一〇〇年記念式典が開かれました。

記念期間中、村内の各小学校依頼してあった、郵便に関する図画（三〇点）や琉球切手、郵政管理事務所より取り寄せた世界の貯金箱（三一点）などが、局内せましと壁一面に展され、一〇〇年記念式典にふさわしく、郵便局に花を咲かせていました。

郵便局長は今回の催しが初めて、とあって、来客の接待、説明、記念スタンプを各種郵便物に押印などサービスで汗ダクダクらい、などで、その日の郵便局内は明るい雰囲気に囲まれてしまいました。

郵便局長の話では、「天底小六年の作品（明治時代の郵便屋さん）は郵便の日に最もふさわしいね。

郵便貯金の簡易保険資金は、一大蔵省を経て、各市町村の公共事業融資となります。

本村では昭和四六年に兼次小学、今帰仁小学、昭和四九年は今帰仁中学体育館敷地購入、建設資金などに融資しています」などと郵便局のあり方、方針を熱狂的に話していました。

村助役、仲宗根区長、人権擁護員などが祝に訪れ、

屋良知事訪れ農家と語る

家畜セリ市の開かれた、去る十月二四日、屋良知事は北部で最も農産物の生産が盛んな地域として、注目されている、本村を視察しました。＝写真

農業生産資材の価格が高騰している今日、農家の生活はどうか、流通はどうか、など、農家と直接話し合い農業の実状を把握するために訪れたもの。

セリを見学した後、仲尾次園芸組合、多頭牛生産者を訪れ、農業問題について次のように話し合いました。

仲尾次園芸組合（島袋武次郎組合長）は「近年の物価上昇にともない、農業生産資材は高騰しているにもかかわらず、農家の台所はいっこうに良くならない。若年層は、他産業に流出しているのが現状です。ムラをあずかる者として農業後継者の育成に頭をかかえている。

農業は我々の永久の職場としたい考えであり、県当局の協力を望みます。」

と農業生産者価格のあり方、将来農業の進む道に不安を感じながら訴えていました。

それに対し知事は「今帰仁村周辺は、緑と水に恵まれたムラであり、風景を見るだけでも心の落着をとりもどすことができます。

今回、本村の農業事情の視察をこころみたのは、沖縄農業の実状を察し、意見要望を施策にしたいと思うからであります。

皆さま方の農業経営を見、現在の困難な農業事状を十分に理解し、今後とも協力するつもりであります。

価格の不安定などで、農家の台所は火の海と言われ、第一次産業は、我々県民生活の基盤であり、農家は土地を守っていく心が大切であります」

と農業の重要さを訴え、今後とも協力する事をちかい合いました。

そして本村で多頭肥育生産者として知られている上間政秀氏（越地）を訪れ、一頭牛になるまでの高額の費用負担、長期間の無収入（セリによる販売価格）

自家飼料などの諸問題がある」と訴えたのに対し、「わが国の七割の牛肉は外国に依存しており生産物の安定した買い上げは困難な問題を残しています」と農政のむずかしさを述べました。

牛の販売価格について説明する知事

家畜異常の簡単な見分け方

今帰仁村役場　獣医師　与儀　実治

（広報七号より）

11　脈　拍

これは循環器病の診断には、きわめて重要な検査である。牛の脈拍の検査は、下顎部の動脈（外顎動脈）あるいは、尾根内側の動脈（尾中動脈）で行なう。

通常一分間の拍動数を脈数とする。

牛の平均脈数は表（前号参照）のごとくである。

病的な脈数増加は熱性病必臓病、著しく疼痛を伴う病気、重度の貧血、あるいは中毒の場合に現われる。

12　呼　吸

呼吸の様相、呼吸の調子および、呼吸数などを検べる。

健康牛の呼吸動作は休息的に行ない、後肢を開き、体躯を要し、色彩は飼料に作用されるが、緑色、暗緑色、または帯褐色を呈し一日の排出量は、二五～三五kgである。

糞の状態を検べるには、排糞の様相、排糞量、糞の硬さと形、色彩、臭気、糞中の異物、糞の外表に付着する血液、粘膜などの有無および、寄生中などに留意する必要がある。

13　尿

排水の状態および色彩を検べる。

尾根内側の動脈（尾中動脈）

尾を挙上し、一気に排出する。牛の尿は元来、明清浄であるが、新鮮尿が混濁していたり、あるい血様色を呈している場合は正常でない。

14　糞

牛が採食してから、糞として完全に排出されるには飼料の状態にもよるが、約一週間を要し、色彩は飼料に作用されるが、緑色、暗緑色、または帯褐色を呈し一日の排出量

をやや前方にし、腹圧を加え、尾を挙上し、一気に排出する。

牛の尿は元来、明清浄であるが、新鮮尿が混濁していたり、あるい血様色を呈している場合は正常でない。

糞の状態を検べるには、排糞の様相、排糞量、糞の硬さと形、色彩、臭気、糞中の異物、糞の外表に付着する血液、粘膜などの有無および、寄生中などに留意する必要がある。

古宇利にイルカ寄る

二七頭捕獲（今漁協）

去る十二月十一日、午前八時より、古宇利、屋我地の沖合にイルカがおし寄せた。

「イルカがおし寄せたゾー!!」と今帰仁漁協（山川功会長）では、早朝から、十七隻のサバニをくり出し、五時間にわたっての捕獲。

漁師は、寒い冬の海に、ザブーンと飛び込んだりで大忙し、中には背広姿で、外出しようとしていたが、イルカが寄せたとあって用事をあとまわし、捕獲の手助けをするなど、大はしゃぎの一日であった。

追いつめられたイルカ一頭は水上に出ることができず窒息状態になり、砂浜にたどり着いたのを、二～三人の見物客たちが即座に逮捕？。

その日の古宇利小中学校の児童生徒や先生たちは、授業どころではなく、双眼鏡を取り出し、「どれくらい取れたかな」と心配そうに見守るありさま。

漁師たちの話では、「一〇〇頭ほど、寄せたものだが、不慣れの点もあって全部捕獲できなかった。

こんなに大きなエモノはあまりとったことがなく、重くて、船に上げるに大変だ。イルカ用のモリがなく持ち合せのモリで、苦労したね。

もしや、ウンジャミ（海神祭）のたまものかも」

などと、「寒い〳〵」を連発しながら、その日の話題はイルカのことばかりであった。

今漁協全体で捕獲したのは、二七頭。古宇利二二頭、運天五頭一で、古宇利島では部落内の各家庭に無料で配布し、その日は古宇利島の全家庭の食卓は同じメニューとなったもの。

注　保獲したイルカは、ゴンドウクジラと呼ばれるもので、海洋博で芸をするイルカとは異なる。

捕獲したイルカは、漁師たちの手によりさっそく料理された。

トン当り一万五千円に合意（サトウキビ）

生産者代表と製糖企業代表間のサトウキビ価格に関する話し合いで、ブリックスによる価格に合意しました。

左記は協定の内容

昭和49／50年期さとうきび取引価格協定に関する覚書

前題に関し、本書末尾記載の両代表誠意を以って交渉を重ねてきたが、生産者側は、生産農家においては、すでに今期さとうきび手取り価格は一トン当り1万5千円という期待のもとに生産意欲が盛上っているが、今期さとうきびは天候等の災害による減収及び生産資材、農村労賃の高騰等によかかる状況の下で一万5千円を割るようなことがあっては、農家の生産意欲を阻害する結果になりかねないとして1本建で価格の要求を一歩も譲らず、製糖企業側は原料の減産及び低ブリックスによる工場操業率の低下と再販価格の高値販売の困難さ等により告示通りの原料代支払いを主張し直向から相対立し続けてきた。斯様な事態は今期操業を目前に控え、生産者製糖企業間に徒らに抗争相対立を醸成し、ひいては農家の生産意欲に影響することを憂い、次の事項に関し改めて双方確認し、今期さとうきび取引価格を次の通りにすることを取り決めた。

記

一、品質に従って価格差をつけることは産物はもとより総ての商品物資の取引に通ずる原則であり、ブリックス度により価格差をつけるべきであるこの主張を認め、今後ブリックス度の高い良質のさとうきびが生産されるよう生産指導を強化すべきであることを了解した。

また、さとうきびの栽培は天候気象等自然環境の大きく影響することと及び国の支持にある特殊作物であり、県の基幹作物であることから政府に対し製糖企業協力して政策的配慮を強く要請することとし、今年度さとうきびの取引については前述の生産者の事情を了解し、今後の生産意欲の高まり期待して取引価格を1本建一、〇〇〇円キログラム当り一五、〇〇〇円（生産奨励金三、八〇〇円含む）とする。

二、今期製糖事情のきびしさを理解し、特に熟度の高い原料から収穫し新鮮な原料の搬入に努力するとともに収穫調製をよくするよう指導する。

三、植込費は実費補償が建て前であり、作年の植込費の地域間格差からみて、もこれを一律に決めることは合理的でないので沖縄本島においては一、〇〇〇キログラム当り六五〇円とし、他の地域においては、沖縄本島の値を参考に各地域ごとに生産者代表と企業代表の話合いによってそれぞれ決定するものとする。

四、さとうきび生産者及び生産団体と製糖企業は、車の両輪として運命共同体であることを再認識し、双方相提携協同して沖縄県糖業の振興に努力する。

五、今後とも生産者団体は良質原料の生産及び生産増加指導に力を注ぎ、ひ作農家は良質原料の生産と反収増加に努力し、製糖企業は増留りの向上等合理化に努力するとともに増産奨励事業を一層強化する。

上記のとおり協定する。

昭和四九年十二月二七日

生産者代表
沖縄県農業協同組合
中央会
会長　山城　栄徳

分蜜含蜜製糖企業代表
日本分蜜糖工業会
会長　仲田　睦男

みんなで美しくしよう

今帰仁村観光協会

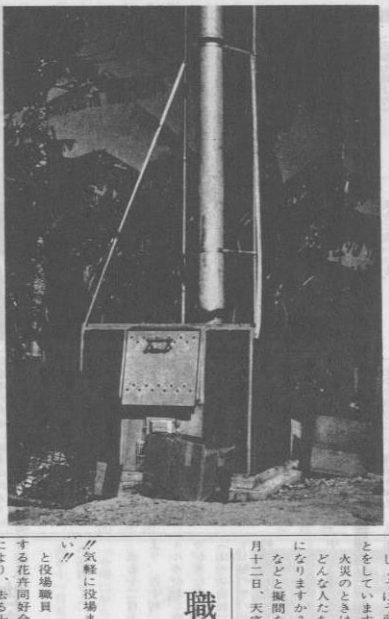
「チリ焼却炉」を設置

"観光地周辺を、美しくしよう"。ところのほど、運天港（国定公園）北山城跡の二ヶ所にチリ焼却炉を設置しました。＝写真。

この消却炉の、設置費用は総額一六万四千円で県補助と村予算で設置されたものです。消却能力は一時間当り60kgのチリを焼やすことができます。

村では以前から県に対し、観光地のチリの集積は目にあまるものがあり、周辺の住民に対し迷惑をかけているので、早めに消却炉を設置してほしい」と要請していたところ補助が交付され今回の設置となったものです。

近くの住民は、「煙りはあまり出ないし、周辺の美化に努めることができる」と喜んでいます。



チリカゴも18ヶ所に設置

村観光協会（会長　松田幸福）では、観光地、村内美化のためチリカゴを配置してあります。

北山城跡・兼次キャンプ場、与那嶺スーパー前・与那嶺公民館・仲原馬場・乙羽山・北山高校入口・平敷売店、大浜海水浴場・具志山売店、仲宗根バス停、専売公社前・大井川橋・運天港などの18ヶ所に置き村内の美化に努めています。

なお村商工観光係の話では、仲原馬場、大浜、北山城跡などの観光地域では、カミミクズ、酒ビン、などで汚され、観光客に対し迷惑をかけているのが現状です。

村民各位が、気を付けて観光地を美しく保ってほしいと要望しています。

皆様の御協力をお願いします。

郵便貯金をしましょう

住みよい社会をつくる、郵便貯金をあいことばに十一月一日から三十一日までの一ケ月間、豊かなくらしと住みよい社会をつくる郵便貯金奨励運動"が全国一斉に実施されました。

国民の経済生活の向上など、国民の生活と密着して広く利用されている、郵便貯金は、年々順調な増加を続け、その貯金高は十七兆円近くに達しています。

郵便貯金は日常の経済生活の安定と財産づくりの、お手つだいをするとともにその資金は、国の財政投融資の資金として、大蔵省資金運用部を通じ、政府関係機関をはじめ地方公共団体、公庫、公団等に融資され、国民の福祉の向上に関係の深い住宅の建設、公害の防止、生活環境施設の充実、農林漁業及び中小企業の近代化、文教施設の拡充道路及び空港の建設など社会資本の充実実に大いへん役立っております。

沖縄県においても二五九億円が融資され、各種建設に大きな役割を果しております。

たとえば、県内には、この資金の融資によって建設された施設として公営住宅、病院、学校、保育施設、離島航路船舶などたくさんあります。

このように、郵便貯金は身近かな"貯蓄"の手段として利用されるばかりでなく、豊かなくらしと、住みよい社会の建設に役立てられています。経済成長よりも国民の福祉の向上が、より重視されるようになった現在、財政投融資の大きな資金源である郵便貯金の働きは、いっそう重要となり、その健全な発展が望まれるところです。

このようなときにあたり、"豊かなくらしと住みよい社会をつくる郵便貯金奨励運動"が実施されることなりました。この運動を通じ、郵便貯金が国民のくらしに大きな役割を果していることを広く、お知らせするとともに、郵便貯金に対する、いっそうのご理解とご支援をお願いするものであります。

今帰仁村郵便局長　諸喜田峯夫

職場に花を

役場職員盆栽展催す

"気軽に役場までいらして下さい"

と役場職員（一九名）で組織する花卉同好会（玉城修会長）により、去る十一月六日～七日、十二月二日～六日盆栽展が役場玄関で開かれました。＝写真。

出展品は、小ギクの懸崖、大ギクの福助作り、胡蝶ラン、カトレア、クロトンなどで、同好会員により優良の審査が行なわれました。

出展期間中、役場をおとずれた住民や子供さん達は「日ごろ窮屈なのに今日は花が飾られており、とても気持が良いですね」などと話し合いながら、丹精こめて作った盆栽に見入っていました。

花卉同好会が結成されたのは、去年の七月で、「個人〈〉の好みに合った、草花を栽培、お互いの連携を保ち、親睦を深めよう」との目的で、結成、当初は先進地域の見学を行うなど意欲も旺盛なメンバーで構成されています。

産業まつりなどにも出品したいが、花の咲く時期と栽培の数が少いため、十分な成果は期待できず、職員以外の方々も会員として、受け入れ、供に花の良さを理解したいが仕事の都合で連絡ができず……。

などと、当面している難問も少ないわけではない。

天底小学三年　消防所訪れる

"気軽に役場までいらして下さい"

火災のときはどうしますか？

どんなくたちがしょうぼう団になりますか？

などと疑問をもち、去る十一月十二日、天底小学校三年生がしょうぼう所はどんな、しごとをしていますか？

社会科の時間を利用し消防本部今帰仁分遣所（金城勲所長）を訪れました。

同小学校では、社会の「しくみ」「うごき」はどのようになっているかを勉強するため、社会教育の一環として、児童生徒の理解を、より深めるために実施されたもの。

分遣所長の消防についての説明に、（幼い児童生徒は真剣そのものの、顔）……「救急車の通る時は道の側面に寄るように、そして火災の時は現場に近ずかないように、消防車は朝、昼、夜に分け、毎日点検してますよ」などと諸注意やしごと内容の説明をすると（ハイ）（そうです）などと幼い胸にしごとのきびしさをかみしめ、うなづいていました。

説明を聞く児童生徒

福祉に役立てて下さい

北山高校　三年生

"生活の困っている方々のために役立てて下さい"

北山高等学校三年商業科バザー実行委員会（辺戸名覚）が去る十一月七日、金一封を社会福祉のために、と言って、琉球新報北部支局を訪れました。

これは去る十一月十六日～十七日の二日間にわたって行なわれた、北山高校文化祭の時のバザー売上金を贈ったもの。

同商業科では文化祭に向け「私たち三年生は高校生活、最後の学年であり、卒業記念として、社会のために何か役立つ、良い事でもしようか」と意見が一致、文化祭を利用、バザーを、計画したものです。

当日は、クラス全員の協力を得、無事、文化祭を終了、売り上げ金額を持参、新報北部支局を訪れたものです。

北部社会福祉事務所は今帰仁村の社会福祉関係に役立てるのが良いでしょう、との意見で本村に寄付となりました。

それに加え、後日にも同校普通科三年生より、寄付がありました。

本村社会福祉協議会（村長）では皆さまの心暖る尊い善意を恵まれない不幸な方々のために立派に役立てたいと思います。

軽自動車の申告について

今帰仁村税条例

一、軽自動車税の納税義務が発生した者はその発生した日から十五日以内に、次の各号に掲げる事項を記載した申告書及びその者の住所を証明する書類を村長に提出しなければならない。

(1) 軽自動車等の種別、車名、形状、性質用途　(2) 主たる定置場の位置　(3) 納税義務発生の日　(4) その他村長が必要と認める事項

二、軽自動車税の納税義務が消滅した者はその消滅した日から三十日以内に規則で定める申告書を村長に提出しなければならない。

なお、軽自動車検査協会で登録する軽自動車については、沖縄県軽自動車協会が本人に代って申告します。

軽自動車、又は二輪の小型自動車については月割課税になっています。

詳しいことについては役場税務課、電話二〇一まで、問い合せて下さい。

軽自動車及び原動機付自転車を買い入れた方、又は消滅した方は今帰仁村条例で次のように定められているとおり、課税申告をすることが義務づけられています。早目に役場で申し込みを済ませて下さい。

なお、軽自動車検査協会で登録する軽自動車については、沖縄県軽自動車協会が本人に代って申告します。

軽自動車、又は二輪の小型自動車については月割課税になっています。

詳しいことについては役場税務課、電話二〇一まで、問い合せて下さい。

気軽に相談して

今帰仁駐在保健婦室では毎月、第一・第四木曜日の午后一時から母性相談をしています。

多数のおかあさんが参加して相談を受ける様、お待ちしています。

保健婦室

青年隊員募集

第六六期青年隊員の募集が始まっています。

"働きながら学ぶ"をモットーとし、機械技術者、社会の中堅青年、海外移住青年の養成を目的とし、協同生活を通し、協調の精神とたくましい開拓精神を養う団体であります。

なお学科試験は免除されており、修了後、海外技術協力隊への推薦も行っています。

詳しい事については村役場経済課までいらして下さい。